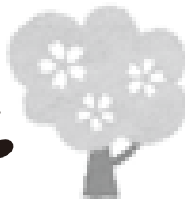


あどばけいと

HSK



1973年1月13日第三種郵便認可 HSK通巻番号553号

発行人=北海道障害者団体定期刊行物協会

発行日=2018年4月10日(毎月10日発行)

編集者=我妻 武

◇特定非営利活動法人 札幌障害者活動支援センターライフ
〒063-0812

札幌市西区琴似2条5丁目3-5 マンションMOMO1F

TEL 011-633-6666 FAX 011-613-9323

ホームページ <http://npolife.net/>

2018年4月号

No.207 [April] 定価 100円

あどばけいと【advocate】=すべての人がもつ権利を、障害などさまざまな理由で行使できない状況にある人に代わり、権利擁護のための活動を行っている人々の事。

「地域で働き暮らす」ささやかな願いの実現を

石澤 利巳

来年は、ライフの前身ワープフロアー開設から30周年になる。障害があっても無くても共に働き共に生きようと頑張ってきた30年である。

当時のワープフロアーは、印刷物のデーター入力の仕事を中心に夜遅くまで働いていた。10年も経ったとき身体が思うように動かなくなってきた仲間も出てきた。施設入りを望む親と、地域で生きたいと願う本人との差が出てきた。その葛藤の中で、「共に生きる場が欲しい」の願いを実現しようとNPOライフを立ち上げた。

いざ動き出してみると建設費が膨らみ、当時のボクらの力ではどうしようもない現実にもぶつかった。

仕事づくり、生きる場づくりの20年

あれから20年が経つ。みんなの努力があって財政的にも少しの余裕が出てきた。障害をもつ人の高齢化や重度化、症状の進行もみられる。施設入りを望む家族もいるが、それは本人の意思ではない。独り暮らしが限界にきている人に、共に生きる場の確保は重要だ。

ライフの事業所は札幌市内に分散している。琴似周辺だけでも3つの建物を借入れ、本部機能含め5つの事業がある。その地代家賃だけでも年間1,000万円を超える。現在の地に移転して16年になる。実際1億円以上の地代家賃を支払ってきた。

自然食品の販売や食堂や喫茶、発送やポストイン業務、清掃業務や資源ゴミの分別等、市場の中で様々な仕事づくりに取り組んできた。正直言って苦戦の連続だ。そろそろ自主製品の製造や地域ニーズに応えるサービスの開発にステップアップしなければならない。「自分たちがやりたいこと、出来ること」から

「地域に必要とされる事業展開+収益」ということだ。簡単にいくとは考えていないが、立ち止まって考えてみても、誰かの指示を待っていても何も進まない。

印刷事業や委託事業などを除く事業売上は年間4,000万円程度だ。この売上をアップさせる自主事業検討が現場スタッフを軸に開始されている。当面の売り上げ目標は年6,000万円である。この構想案については別の機会に報告させていただく。

公助と自助+縁づくり

ボクたちは、公的助成を受けながら障害ある人の働く支援や暮らし支援に取り組んでいる。足りない分はみんなの「ハタラキ」でカバーしている。比較すると、公的助成1に対し自前の事業売上が2の割合である。しかしみんなに分配するお金はまだまだ少ない。とりわけB型の障害者分配金は下がるばかり。この事態に対し危機感をしっかりもって全体で売上アップを目指していきたい。

これらを実現するためには、地域との縁づくりが大きな鍵になる。自分たちの事業が自分たちの力で成立っていると思っていれば、それは大きな勘違いである。人間独りでは生きられないように、ライフもライフだけでは生きられないのだ。琴似で産まれたワープフロアーは地域に支えられてライフとなり、30周年を迎えるのだ。地域の縁に恩返しをしたい。



障害者の人権を無視してきた旧優生保護法 改めて優生思想と闘うことを宣言する

石澤 利巳

第一条 この法律は、優生上の見地から不良な子孫の出生を防止するとともに、母性の生命健康を保護することを目的とする。

第二条 この法律で優生手術とは、生殖腺を除去することなしに、生殖を不能にする手術で命令をもって定めるものをいう。

これは旧優生保護法に書かれた条文の抜粋です。この「優生上の見地から不良な子孫の出生を防止する」ということは、病気や障害をもつ子どもが生まれてこないようにする、と解釈できます。そして、優生手術の対象を「遺伝性疾患」だけでなく、「らい病」や「遺伝性以外の精神病、精神薄弱」に拡大し、本人の同意がない優生手術は、1949～1994年の間に、統計に現れただけでも約16,500件も実施され、その68%は女性といわれています。

長年、優生思想に反対してきた「82優生保護法改悪阻止連絡会」(略称「ソシレン」)のホームページには「優生保護法の2つの目的「不良な子孫の出生防止」と「母性の生命健康の保護」は、実は一つに結び合わされています。「保護」される「母性」とは、“健康な子どもだけを、国家に必要な数だけ産む生殖機能”のこと。つまり優生保護法は、“産んでよい人”と“産んではいけない人”を選別したうえに、“産んでよい人”の生殖も、国家の人口政策・優生政策の中に位置づけてしまったのです。」と書いています。

そしていま、この法律によって強制不妊手術された被害者たちが宮城県や北海道等で声をあげ、国に賠償責任を求める裁判を開始しています。障害はあってはならないと障害者の生命を否定する優生思想は、

相模原やまゆり園障害者殺傷事件などいまでも日本社会に、そして一人ひとりの人間のなかにも根付いています。

私たちは、改めてこの人権否定の「優生思想」と闘うことを宣言し、全国各地裁判に立ち上がった被害者支援の取り組みを行なっていきます。

旧優生保護法に基づく優生手術件数

①北海道	2583人
②宮城県	1406人
③岡山県	845人
④大分県	663人
⑤大阪府	610人
⑥静岡県	530人
⑦東京都	483人
⑧山形県	445人
⑨神奈川県	420人
⑩埼玉県	405人

・	
香川県	50人
奈良県	11人
徳島県	2人
※1949～94年、旧厚生省の「衛生年報」などから作成	



【82優生保護法改悪阻止連絡会】(略称「ソシレン」)のHPを参考にさせていただきました。
HP <http://www.soshiren.org/>

『あどぼけいと』の リニューアル にともなう休刊について

ライフ
からの
お知らせ

いつもたくさんの皆様にアドボケイトをご購読いただきまして、ありがとうございます。
ライフの先駆けである、障害者ワープロフロア時代の「フロアー通信」からはじまり「アドボケイト」になって約25年という月日がたちました。時代の移り変わりと共に、ライフの事業所も1つ増え、2つ増え、アドボケイトには理事長や専務理事、ライフで共に働き共に生きる仲間達の活動や想いがたくさん書かれてきました。

最近では、「アドボケイトを楽しみにしています」との声もたくさんいただく一方、「若干マンネリ化していてつまらない」という声もいただくようになりました。

そこで、大幅に!!…とはいきませんが、アドボケイトを少～しだけリニューアルしようと思います。本当は、新年度のはじまりである今月号(4月号)から新しいアドボケイトをお届けしたかったのですが、スケジュール的にも間に合わないと判明。そこで少々お時間をいただくことにいたしました。

アドボケイトは5月号を休刊とさせていただき、6月号よりリニューアルという形になります。今まで以上にライフの活動発信や想い、みんなの声が詰まった、紙面作りを目指して頑張りますのでどうぞよろしくお願いいたします。

広報担当



野崎・坂本・西田



不定期連載
No.13

シリーズ

感じること 知ること 分かること

『何度言ったら分かる!』

石澤 利巳

このフレーズは50年前中学時代の教師に言われた言葉だ。やんちゃなボク等は、「教師の説教くそ食らえ」の生意気盛り。学校批判もした。授業ボイコットもやった。懲りないボク等は「何度言ったら分かる!」のあとにビンタまで頂戴することになる。「分かっているけどやめられない」は植木等の専売特許?だが、ボク等は「分かっているけど聞きたくない」だ。ようは、何度言っても「あんたの言う事は聞かねえーよ」なんだから、ビンタも効かない。コミュニケーションは不成立。どっちが悪いという問題ではなく、信頼関係が崩壊していたのだ。本来「どっちもどっち」なんだが、そんなことでも言えばビンタが増えるだけ。

障害のある人と会話しているときに、最初はゆっくりと話すようにしているが、だんだん早口になっている自分に気付く。最近はなるべく「ひらがな」をイメージして話すようにしているが、小難しい熟語等を使ってしまうことがある。

会話をしているのだから、相手にボクの言いたい事が伝わらなきゃ意味がない。通じない「こ・と・ば」を連射しても、それは一方通行の自己満足。それはコミュニケーションではない。

「いつも言っているしょ」

「どうして同じこと言わせるの」

自分の周りで似たような経験はないだろうか。もし気が付かなければ他の人に確かめるのもいい。分かってくれない相手をとにかく言う前に、自分の伝

え方がどうだったのか「反省」することも必要だ。ボクなんか山ほど失敗の経験がある。でもその時は、ボクに注意や諭す人がいなかった(聞けなかった自分もいた)。だから随分他人に迷惑をかけてきた気がする。もっというと、気付いた人が諭す事も大事だし、それに耳を傾ける自分の成長も大事。そうだったら、ボクももう少しオトナになれたかもしれない(それは無理か)。

その昔、人と一緒に物事を進める場合、「相手の立場に思いをはせる事が必要」だと教えられた。その哲学者はそれを「感じること、知ること、分かること」という表現で説明してくれた。感じること(共感)によって、さらに知りたいという気持ち(欲求)が芽生え、理解(分かる)が深まるという事だと記憶している。

相手はボクのことをどう思い、ボクはその人をどう思っているのか。相手は何を望んでいるのか。ボクはどうしたいのか、されたいのか。人との関係は、思いやる感性から始まるのではないか。感性が鈍ければ磨けばいい。問題は、自分磨きと自己を見つめなおす勇氣だけだ。

(2017.12.19)



就労継続
支援事業
A型

共働事業所 きばりや

農業／軽作業

■農業 ■ポスティング ■DM発送 ■軽作業 ■その他委託業務



カフェ・ド・キバリヤ

Cafe de Kibariya

喫茶

■カフェ、ランチ、スイーツなど ■食品販売

名古屋パン研修

きばりや 大浦 拓磨

いよいよ新年度が始まりますが、皆様はいかがお過ごしでしょうか？

ライフがビル構想、新事業を考えてる事を知っていると思いますが、その一環として名古屋のわっぱの会に3月4日から10日までの間、パン作りの研修

に行ってきました。詳細な内容は長くなるので控えますが、たくさんの経験をさせていただいて、関わってくれたみなさんに感謝です。

パンはおいしいし、作る工程もたくさんあり、個人的にはおもしろいなと思いました。

どんな新事業を始めるかはわかりませんが、ライフのみんな一丸となり、共に考え、共に行動していけたらいいと思います。



3月だあ————！

きばりや 星 悠

今、JPをやっています。そして、ポスティングもあります。

そして、ゆびさくのれんしゅうもしています。あと、JPのおりのれんしゅうしています。

ゆびさくは、とてもむずかしいかんじでした。おりもちょうどまがらないように、どいよくしたいです。

ぼくは、アドボケかくのがむずかしいなあと思いました。ながいぶんしょうがおもいつかないからです。



春なのに…鬱

カフェ・ド・キバリヤ 高橋 優希

唐突ですが…私、うつ病になりました。(泣)

突然楽しかった事が、楽しくなくなるって辛いですよね…。

幸いカフェでは人と話す機会が多いせいか、マイナスの気分にはならなくて安心しています。

皆さんも風邪や病気に気をつけてくださいね。

え～、はじめまして！

カフェ・ド・キバリヤ 岩城 貴紀

え～、3月から新しく入りました岩城貴紀です。まだ色々わからないことばかりですが、職場の皆さんに支えられ日々頑張っています！



え～、自己紹介文ということで、趣味のことも書きたいと思います。

とりあえず、趣味は読書であります！月に1～2回は近所の図書館へ通って、ミステリー等を借りています。あと、野球観戦も好きで、日本ハムファイターズ推しであります！頑張れ、頑張れ、ファイターズ！！今年は10回ぐらい札幌ドームへ行くのが目標です！！

これから一生懸命仕事を覚えて頑張りたいと思いますので、皆さんよろしく願いいたします。



カフェ・ド・キバリヤ 今月のおすすめ

昨年も好評だった白花豆と牛乳のおしるこです。

余談ですが…、きばりやの白花豆を初めて食べた衝撃！！あれ以来、苦手だった豆が大好きになりました。

白花豆が無くなり次第終了ですので是非食べにいらしてください。



《白いおしるこ》…………… 250円



生活介護事業 こころや

お米販売／軽作業

■レクリエーション ■アート活動
■お米の卸し・販売 ■軽作業

道立美術館で練方志功展 を見に行つて

山本 守一

いろいろな版画とか油絵が展示していました。

版画などは大きなものがあり、とにかく驚いて見ました。それを彫刻刀で作っているのです。大きなものだから何枚も継ぎ足して一つのものを作るのですが、それを下絵も無い状態から勢い良く彫り進めて作品を作るのですから、なおびっこりしていました。

油絵の方も「わたばゴッホになる」と太陽花などを画いていました。

僕は練方志功展を見て僕たちがやるのであれば、細かく真剣にやると思いますが、そんな事をかまわずにすらすらとやる。そんなことがいいかもしれないし、早くやることによって自分独特の何かを見出しているのかと感じた。



こころやで過ごしている 時に感じること

吉田 邦彦

自分が日中時間帯にこころやで仕事をしたり体を休めている時に感じていることは、自分自身も含めての事だけれども、もう少し言動や行動みたいなモノを、落ち着いて、なおかつある程度責任をもって活動

をしたほうが良いのではと思う。

余計な発言とかやらなくてもよい行動をよく目にしているわけだが、それを「ごだわり」で解決してしまえば終わってしまうだろう。ただ、皆ある程度いい年齢をしている、要は大人である。それぞれ障がいの内容は違っているが、大人である。子どもとよべる様な年ではなくなっている。無理な事も、1人1人の人間ができる事にも限界は必ずあるが、自分達はできる範囲内でいい年齢の重ね方ができればいいなあと思っている。

完全なモノを求めているのでは決してない。1歩1歩前に前に前進していきたい。時間はかかってもいい、遠回りもそれはそれで1つの経験値だと思う。年をとる事で衰えていくことは避けてはとおれないけれども、それでも輝いて生きていきたい。まず日常生活をきちんと送りたい。落ち着いた言動と行動や責任のある行動、むずかしいとは思いますが精一杯生きていきたい。

まとまった文章になつてないのは分かっているが、自分の思った素直なことを文字にしてスッキリしました。



みっちゃんの

勝手にどうぞ~!

❖ めんどくさいですか? (笑)

インタビューが面倒ではないです。(笑)

❖ こころやに来て何ヶ月位ですか? 1年と1ヶ月くらいです。

❖ おもしろいですか? おもしろいです。

❖ どこがおもしろいですか?

メンバーさんが面白い人が多いです。

❖ 何をきくかなあ、僕に言いたい事は、僕に聞きたい事がありますか?

それはズルイです。(笑)

❖ ネタがない(笑)

無理矢理やらせてそう。(笑)

ガヤ: まだまだ岡林さんはやれるはずだ!

今月のゲスト／こころや 竹田 銘子



❖ 子どもの事聞いていいですか?

子どもの許可が必要なのであれですが、大学生と就職する子がいます。

❖ 無理矢理聞いているんです…

そんなに人にインタビューしたい事もないんですよね

❖ そうなんです(笑)、今まで福祉の仕事をしていて障がい者という人に言いたい事はありますか?

人それぞれできる事や、できない事とか、ひとくりに言う事は難しいけど、やってもらって当たり前でなくて自分でやってみる事も必要だと思うけど、育ってきた環境もあるし

❖ 僕もそう思います。僕もできない事をやれと言わないけど、少しでもチャレンジする事が大事で、長く続ける事が大事だと思います。

竹田 銘子さん、ありがとうございました!



就労継続支援事業B型

コン・ブリオ

ひだまり

食品販売飲食業／清掃

- 食堂（ランチ、ドリンク）
- テイクアウト弁当
- 自然食品、フェアトレード商品販売

2年間お世話になりました（泣）

藤川 暉

僕は2016年3月29日火曜日からコン・ブリオひだまりで2年間働きました。最初は分からない事が沢山有りましたが、だんだん慣れていくうちに出来るようになりました。

4～5月はイオン体験をしましたが、結局3日間しか行けませんでした。9月には下水道科学館フェスタで接客等を行いました。僕にとってはかけがえのない存在でした。

4月からはチャレンジキャンパスさっぽろで2年間勉強して、給料の多い職場へ就きたいと思います。今まで、本当にありがとうございました（涙）。



頑張っていること、楽しいこと！

伊藤 美由紀

2012年4月にひだまりで働いて6年目になります。

今、頑張っていることは、たねやお弁当はいたつや、かいしゅうに道がわるくてもいつています。キッチンのなかでは、洗い物や野菜を切ったりしています。

楽しいことは、いつも月に一度奥井さんと貴彦さんと星置養護学校に販売に行っています。私が卒業してから、顔や名前のしている先生が少なくなってきましたけれども、たくさん買ってくれる人がいるので嬉しいです。

毎日休まずに頑張っています。



いよいよ春が…♪

吉田 綾華

3月に入り少しずつ暖かくなり 随分陽も長くなってきましたね！

20日は上の娘の小学校の卒業式でした♪驚く事に9割が袴でした。（〇_〇）そして袴ブーツ…時代は変わりましたね。

悲しむ子がきつとたくさんいるんだろなって思っていますが、ぜんぜん居なく今の子は逞しい子が多いのですね。m(._.)m

卒業シーズンが終わるといよいよ春ですね♪春になると 色々出掛けたくなったり美味しい物も増えますよね。（|v|）

アスパラは毎年楽しみにしています♪これから畑の野菜も植えられる時期になるので毎年今年は何を植えようかと考えるのが一つの楽しみでもあります♪カブの採りたては本当に美味しいので一度食べたらヤミツキになります。（の>v<）

これから野菜がどんどん美味しくなる時期たくさん食べて健康になりましょう★



たねや
キャラクター
タネコ就労継続支援事業B型
共働サービス

たねや

店舗業務／清掃／軽作業

- 自然食品・雑貨などの販売、店舗業務
- 出張販売 ■ 清掃委託業務
- 軽作業

「札幌市電子図書館」 って知ってる？



畑 憲一

アマゾンや楽天、Yahooなどの電子マガジンの読み放題サービスがネット上で増えています。利用はほとんどが有料で月額500円から1,000円位。約200誌程度の雑誌が読み放題となっている所が一般的です。料金設定が比較的高めの運営サイトでは雑誌のほか漫画や一般書籍などを読む事が出来ます。

しかしごくごく身近に無料活用できて、小説や実用書のほか、デジタル絵本、音声コンテンツなんかも視聴出来てしまう、(漫画はないです)そんなサイトがあるではないですか！

3月19日の日経新聞を見ていたら、3年前から開設されている札幌市中央図書館運営「札幌市電子図書

館」の蔵書が昨年末で7,700冊となったとの記事がありました。開設当時電子書籍の紹介チラシか何かをみて登録してみたいなと思った記憶が蘇りました。あれから3年が経つんですね、未だに登録していません。利用するには札幌市内の図書館に行き登録する仮パスワードを発行しないと利用が出来ないのですが、一旦登録すると、気軽にPC、スマホ(アンドロイド、iOS)問わずに無料で利用が可能。皆さんも是非使ってみてくださいな。私も登録してみようと思ってます。

ところで話はかわりますが、そんなわたくし、たねや勤務が本日で最終日です。イオン勤務中心で事務所には月に数回来れるかどうかの勤務状況でしたけど、皆さんお元気ですね！来月からお世話になるリユースプラザのイベントの際に販売にいらしてください。またお会いしましょう！



初めてインフルエンザ

増田 真理子

12月30日土曜日に足がいたかったり寒気がしたり熱が上がったり具合が悪くつねてました。夕方に夜間急病センターに行きインフルエンザの検査はなしでした。

12月31日日曜日なかなかおきれなくて、見たいドラえもん番組も見れませんでした。熱を測ったら40度の熱がありました。また夜間急病センターに

行ってインフルエンザの検査はA型インフルエンザになりました、私は初めてでした。年末年始はほとんど家に居ました、インフルエンザの具合で早起きができなかったりみんなで初詣にいけなかったり、仕事と清掃も休んでしまったり早くねてしまった事です。

1月7日日曜日に久しぶりに外に出て、まだインフルエンザの治りかけでまた具合が悪いです。仕事復帰は1月9日火曜日に行き、今年最初の仕事復帰来て良かったです。

闘病の状況について 大島 隆也

僕は難病と戦い続けています。昨年あたりから新しい薬を使って治療を始めました。病気への効果が強く、ありがたいのですが副作用も強く出ます。最近では回数も減ってきていますが辛い闘病が続いています。一番きついのは飲酒をしていないのに二日酔いのような激痛に襲われたり吐き気や目まいがあります。

今は仕事を大幅に短くして出勤しています。起床時には何も異常がなくても、急変する事もあるのでなかなか思う通り動けません。最初の計画では、年明けから徐々に通常時間に近づける予定でしたがかなり遅れています。もっと不調の日数が減って出勤日数

が増えたら、その時期から始めたいと思います。その時期はまだわかりませんが、頑張っていきたいと思います。

今は出勤時間を短くしていますが、休日を利用して販売練習をしています。私物を使い何がどれだけ売れるかを実験しています。これはいつもではありませんが、体力がついて以前のように働けるようになった時に活かしたいです。その練習は未開封だといくら、開封済みだといくらになるかを調べています。自分の私物の検品までしてから売りに出します。初回の練習で、レジ袋5個分が一気に売れたときはびっくりしました。時々ではありますが繰り返して、仕事で成果が出たらうれしいです。



ヘルパー派遣業務・在宅介護支援
ヘルパーステーション

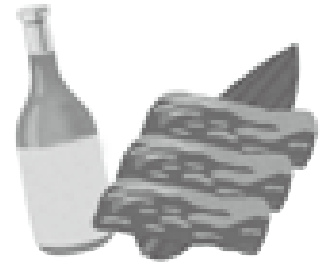
ゆい
繭結

ヘルパー派遣業務／在宅介護支援

■ 居宅介護 ■ 訪問介護 ■ 重度訪問介護
■ 介護予防訪問介護 ■ 福祉有償運送
■ 行動援護 ■ 同行援護 ■ 移動支援

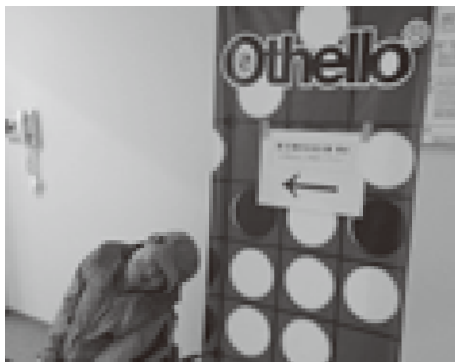
そして神戸

宮津 憲司



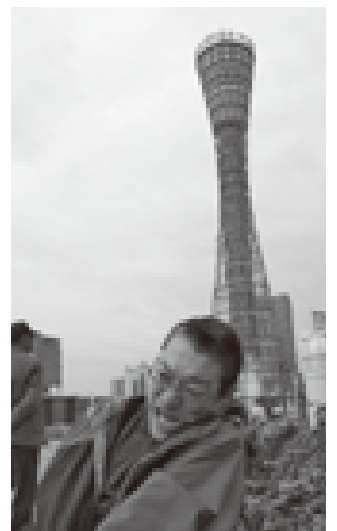
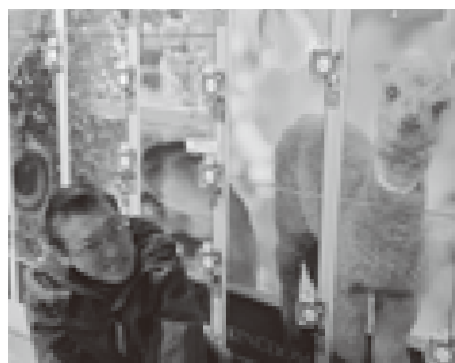
ようやく北海道も春めいてきた今日この頃でございますが、皆さん、いかがお過ごしでしょうか？さて、私は今年も、岡林満美氏のオセロ名人戦全国大会に同行してきました。一昨年は名古屋、昨年は仙台でしたが、今年は神戸。3月17日(土)～19日(月)の2泊3日で行って参りました。

札幌とは気温差10℃以上、2時間のフライトを含めた移動時間は5時間と、還暦間近(11月18日が60回目のバースデー)の岡林氏の体調面の急変が心配されましたが、無事、神戸のホテルに到着。せっかくの神戸、やはり夕食は神戸ビーフ？の期待も虚しく、ホテル近くの居酒屋で、いつもの居酒屋メニュー(笑)。ウィナー炒めにナスの揚げ浸し、揚げシュウマイ、そして焼きそばなどなど…。少々アルコールも召し上がり、翌日の大会に備え、早めにホテルに戻り、就寝。



翌日は、更に気温が上がる中、名人戦全国大会に出場。元世界チャンピオンとの対戦も組まれる厳しいマッチングでしたが、4勝3敗で参加者200名中40位台の好成績で終えることができました。元世界チャンピオンとの対戦では、惜しくも時間切れの敗戦(私のせいでもある(涙。))でしたが、元チャンピオンから「お強いんですね。時間があったら負けていたかもしれません。」との言葉もいただき、悔しい気持ち半分、充実した時間を過ごされたのではないかと思います。

大会翌日、帰札の日は生憎の小雨でしたが、フライトまでの時間、メリケンパークの「ポートタワー」や「神戸震災メモリアルパーク」、空港近くの「神戸どうぶつ王国」などを周り、午後9時頃、無事帰宅されました。



今年で3年連続同行させていただきましたが、来年以降も出場出来るよう、体調管理をしっかりと健康でいたいですね。お互い年齢も年齢なので(汗)。

以上、岡林氏の「オセロ名人戦全国大会」出場同行の報告でした。

PS. 岡林さん、6月には「ヨサコイ祭り」が控えており、毎週末、練習が組まれています。くれぐれも体調に気を付けて、無理しないでくださいね…。神戸牛、食いたかったな(笑)。



札幌市委託事業

アウトソーシングセンター

元氣ジョブ

マッチング事業

- 民間・官公庁への営業活動
- 受注した業務の振り分け
- 授産品の販路拡大

二泊三日

青森完全制覇の旅

富田 英人

昨年11月、ぶらりと青森へ旅にでました。久しぶりに電車の旅がしたかったし北海道新幹線にも乗ってみたいかったし、一番近い道外だし、車をレンタルすれば2泊3日、お手軽楽勝で周りきれるのであろうという理由で青森だったのです。

が甘かった。ホントに甘かった。実際は、思っていた以上の山道に手こずって計画通りに進まず挙句レンタカー大爆走。「おにいさん何処から来たんだ？」と津軽弁100%のおばちゃん軍団に囲まれ何を言っているかさっぱり分からず、まるで異国で迷子になったような心細さで半泣きの気分になり、青森県民のソウルフードだからと勧められるがままに「味噌カレー牛乳らぁめん」を食べたのはいいけど、何と言ったらよいか分からない味に、頭の上に浮かんだ？が?????状態になり、ついでにこれ食べてみて「味噌バターカレー牛乳どらやき」を口にした瞬間、再び頭の上の？が?????となり…。とにかく何やかんやの珍道中になってしまったのです。リンゴ、十和田湖、ねぶた、恐山、三内丸山遺跡、奥入瀬溪流、八甲田山、白神山地、鳶沼、そしてアテルイなど、見所・話題てんこ盛りの青森は侮れません。その紹介は後で書くとして、まずは今回のテーマのひとつ「電車の旅」から。

ゆっくりと流れる車窓の景色を楽しみながら、本を読み駅弁とビールを楽しむ。贅沢な時間の過ごし方です。新函館北斗駅まで在来線で3時間27分、充分に楽しもうと思ったのですが…長いですね、3時間27分というのは。飛行機なら新千歳から沖縄あたりまで行ける時間です。発車して30分で飽きました。とにかく新函館北斗駅まで長かったです。そして北海道新幹線。その車中は広く、座席の座り心地も良好。なんだこれは？と目の前のレバーを回すと何とテーブルが出てくるではありませんか。おーすごい…でもないですね。これはどこにでもありま

す。そして発見！足元にコンセント。スマホの充電もできるパソコンも使える。これはありがたい設備です。と1人でゴチャゴチャやっているうちに発車。

静かです。しかも揺れない。どこにもつかまらないで真っ直ぐに歩けるのです。いつも乗っている学園都市線とは大違い。新函館北斗から新青森駅まで1時間5分（うち青函トンネルが25分間）。快適な車中で睡魔に襲われながら聞こえる会話に「ん？」いつもと違うぞ。ちょっと聞き耳をたててみる。「吉 幾三がさあ…」と後ろのおばちゃん。「ん？吉 幾三お〜？」久しぶりに聞く名だ。「サブちゃんてね」と斜め後ろのおっちゃん。「サブちゃん？」北島三郎さんですな。当然知ってますが…それにしても話題がナウくない。全くナウくない。会話の中に安室奈美恵や星野源、AKBなどは一切出てきません。そして異空間に入り込んでしまったかのような違和感に眠気も覚める。いない。若者の姿がない。京都、大阪、奈良、東京、神奈川にはわんさかいた若者がいない。ふと、若者が行く観光地の本州北限は何処なんだと思う。青森じゃねーなと思いながら、決めた。これからの旅のテーマこれにしよう。なんて事を考えているうちに新青森駅到着。

さあこれから2泊3日珍道中の始まりです。何から書くかと考えていたらこの原稿の制限文字数をかなりオーバーしました。ということで続きは別の機会に。ところでリンゴ果肉入り餃子の味って想像つきます？…ではまた。





共働事業所 もじや

印刷事業

- 各種デザイン ■各種印刷 ■その他企画・制作
- グッズ・ノベルティ ■看板・屋外広告 ■のぼり・横断幕
- テープ起こし ■各種データ入力管理

今回は？

星 力雄

この時期(3月下旬)もじやの繁忙期も終息に近づき、なにかと落ち着きを取り戻しつつあります。そんな中先日毎年この時期定例の札幌市の仕事で約600件の訳分、梱包作業があり、2日～3日かけてきばりやの皆さんが星園プラザのもじやまで来てくれて作業していただきました。その節は大変お疲れ様でした、又ありがとうございました。

その折ある人との会話で「この仕事が終わると春だね」と、私も「これが片付くと新年度がもうすぐだな」と、毎年、季節の風物詩のように感じています。

それでもこの仕事のおかげで一同に他の事業所

の方々がもじやに来ることは無いのである意味交流も兼ねて良い機会だと感じています。ただ今後は各事業所の形態が変わっていったらこの風物詩も見れなくなるのか心配です。(その時はその時ですね。)

さて新しい年度の始まりです、本年はライフ新社屋計画、そして新たな事業、多少の不安も感じますが期待と希望も大きいと思います。又皆で1年乗りきっていきたいと思います。



新しい車椅子が出来ましたよ！

永島 勝章

手動車椅子の再交付の時期が近づいてきた。

車椅子はもう何台か再交付を受け、自宅用・実家用・仕事用があり、新しい車椅子を申請して一番古いのを処分も考えたが乗れるのにもったいないと思い、色々考えた末「プライベート用の夏専用の車椅子」にしようという考えに。

以前に譲ってくれていた簡易式電動車椅子のユニットを付け、溝にはまりにくいようにと大き目の幅の広い前輪に変えた。

新しいフレームの色は、商売繁盛とお小遣い倍増になるように願いを込めてゴールドだ。

これで通勤も冬用・夏用と電動車椅子を使い分けができ長持ちさせられる。

明日の仕事の活力となるアフターファイブにも、路地裏にある安くて美味しい店などに入りやすくなり良い事ばかりだ。

仕事の間にいろいろと考え抜き、業者さんに「結構、出来上がるまでに時間がかかったんだからな」と言われながらも、手に入った車椅子と喜んだか、フツ

と我に帰った時に「あつ、子ども二人乗せれない」と、いろいろ作戦をねっていたのは幼稚園の冬休み中で、自分には通勤前に幼稚園バスが来る所まで送る日課があつたんだと、甘くない現実に戻されたがそんな事ではへこたれない。

雪がとけいよいよ車椅子に乗っている人たちににとっては良い季節、何があるうともいろんな所に出かけるぞ！新しい車椅子。



札幌市リサイクルプラザ

発寒工房

環境事業／障害者・高齢者雇用促進

■木製家具や子供用遊具の修理・提供 ■自転車の修理・提供



札幌市リユースプラザ

厚別地区リサイクルセンター併設

環境事業／ごみ減量活動

■家具の洗い・簡易修理 ■資源物回収 ■木製家具や子供用遊具などの販売
■リユース自転車抽選販売 ■環境イベント、講座など

委託事業の展望

2011年3月11日 2時46分同じく大きい揺れがライフでも感じました。後にその揺れは東日本大震災と命名されました。自分は来日してからたびたび小さな地震も珍しいことで、生まれてから地軸が揺れる経験は軍隊で手りゅう弾の投下訓練以来でした。しかし、その時の揺れは地震には慣れているとはいえライフの皆さんもあまりにも激しい揺れに戸惑っていたことを思い出します。7年経った今もその時の衝撃は忘れていません。

ちょうどその頃ライフでは札幌市の大型リサイクル委託事業に参入することが決まって引き続きの真最中でした。今は環境事業の一環として位置づけられています。ライフが関わって7年が経つ今は何処に向かって行っているのかを問われていると思います。

発寒工房は市が初めて札幌市障害者協働事業制度を導入した象徴的なところ。ライフにとっても障害者の就労機会を広げるまたは中間的な就労場として活躍出来る場所だと思います。特にライフが関わってか

発寒工房 ジョン ウルク

らは障害者との対等な働き関係づくりには当初と比べ進展していると思います。また、一人暮らしなど自立を進めて来た活動は確かな成果を上げて来ました。しかし、このような支援活動についてはどんな評価がされているか疑問を持っています。また、委託事業には障害者従業員の持続的な就労活動と安定した暮らしを不安にさせる要素らが潜在していることです。その弱点を克服するため着案したのが中間的な就労場としての活用でした。去年は初めて中間的な就労を試みた希望の年でした。しかし、その希望は半年も持ちませんでした。その原因は工房の働き配慮と生活を連動した支援が新しい環境では得られなかった事では無いかと認識しています。

むろん、ライフとしての課題もありますが、障害者協働事業制度が出来た本来の趣旨であればこのような改善しなければならない点に黙過すると、制度は悪用され善意の被害者が出ることは一目瞭然です。

新年度の抱負

発寒工房 大井 敏彦

今年度の3月いっぱいまで定年退職になります。新年度(30年度)からは嘱託として働く事になりますが、どんな形でも働けることはこの年(60才)ではとてもありがたい事だと思います。60歳になると以前のような体力ではなく、疲れやすく回復力も落ちているので4月からは腰痛なので(ヘルニア)、腰と相談しながら軽いウォーキングから始めていきたいと思っています。近くに西区体育館があるのでそこで運動を始めたいと思います。又、4月から1時間早く上がる勤務体系になるので空いた時間を有効に使いたいと思います。

今までは何件か依頼のあったお話を皆さんの前で体験談などをしていました。しかし、夢の一つでもある皆さんのお役に立ちたい、少しでもいいから僕の話しをみなさんに知ってもらい、理解してもらおう活動をするためには本を出して、メディア(テレビ、ラジオ)に出演する準備をしていきたいと思っています。まだまだ障害者は目に見えない差別などがあって困難な状況は続いています。そのほんの少しでも僕がお役に立てればよいとおもっています。これからもよろしくお願いします。

一人暮らしに向けて

発寒工房 斉藤 洋平

自転車の作業に携わって一年がたちました。切替えや子供用の自転車など作業が広がる一方で最重要箇所の見落としや調整の不備など反省点が多々浮かんでいます。一日一日が大切な時間となっていますが、そうした自転車の作業と同時に進めていることがあります。それは一人暮らしのことについてです。

自分は両親と生活をしています。その中で食事、洗濯、掃除、時には車での送迎などまさにそれは「おんぶにだっこ」の状態を負担をかけてしまい申し訳ない気持ちでいっぱい。「甘えは卒業し自分の力で生きていかなければいけない」そうした気持ちの中で周囲から一人暮らしについてのお話がありました。恥ずかしながら自分は一人暮らしの経験がありません。しかし今が動く良いタイミングだと思い段階を踏みながら進めていくことを考えました。

まず短期間だけ家を借りて仮の生活することからスタートです。家事全般の仕方や時間を確認して出勤する。生活費などの金銭管理を把握して使い分けていく。そうした経験によって本格的な一人暮らしをした時の対

応力を身につけていこうと思いました。また一人暮らしをしている先輩方にも話を聞きました。生活の様子や良かった点、食事の面での支援など細かな情報を伺うことができたと思います。(今回は二人の職場仲間のご自宅に訪問させていただきました。お二人とも忙しい中ありがとうございました。)いくつもの情報を知ることによって不安な点を一つ一つ消していくことが出来たと思います。

様々な課程の中でときに見えない壁に当たることがあります。しかし今まで分からなかった一人暮らしの重要性を知りたい。世界観を見つけない。時に応じてサポートをいただく場面がありますが自分でできる範囲を広げたいと思います。そして現在の生活の中でも家事を率先して行い、柱を築いていく。日々の行動から可能性を見出し、自立への道を歩んでいきたいと思っています。

リユースプラザは9周年

館長 松永 クニ子

平成21年4月に開設したリユースプラザは、来年10周年を迎えるまでになりました。

私、松永は平成22年8月からリユースプラザに勤務していますので、リユースプラザの変貌ぶりをしっかりと体感しています。家具の展示状況、イベントと講座や教室の内容の充実など当初とは何十倍も上がっています。地区リサイクルセンターについても、平成21年度は15品目でしたが現在は22品目と増えて資源物を持ち込む方もそれに合わせて増えているという状況です。

当時の写真と見比べて頂くと一目瞭然です。平成21年頃の展示数は100点前後、現在は250点以上の家具類が展示されています。座卓はナント!三段積みですよ!

リユース家具類の即売の施設であるリユースプラザの登場で、ずいぶんリユース(繰り返し使う)ということが浸透したと私たちリユースプラザの職員は日々感じています。地区リサイクルセンターも、ごみの分別や減量に大きく役立っています。こんなに重要な施設の管理運営をNPO法人ライフが請け負って8年目になります。リユースプラザの充実はライフの皆さんのおかげでもあります。平成30年度も充実した施設管理と運営に職員一丸となって頑張ります!また、ライフの皆さんのご協力もよろしくお願い致します。



平成22年の館内の様子。ガランとしています。



平成30年3月22日撮影 家具がいっぱい!

リユースプラザの行事案内

▶4月1日(日)~30日(月・祝) ベビーカーフェア開催

*ベビーカーを1台1,000円~
3,000円で販売します。



▶4月28日(土)~5月6日(日) ばくりっこコーナー開設

お一人さま5点以内、1家族10点以内ばくりっこコーナーに置いてある物とばくりっこ(物々交換)ができます。ご家庭の不用品でまだまだ使える日用品、学用品、おもちゃなどをばくりっこして活用しましょう!

絵本・文庫・単行本など



は、発刊から1年以内の美品をお願いします。それ以外は古紙の受入れをしていますので、そちらにお願いします。洋服は対象品ではありません。不要な洋服がある方は、古着の回収を行っています。資源物として受け入れています。

▶5月19日(土)10時~15時 春だ!桜だ!リユースまつり開催

焼きそば、揚げたてコロッケなどの屋台コーナー、福祉施設の物販、互久楽さんの南京玉すだれなど楽しい催しものがいっぱいです。



大人気的环境カルタのようす

ライフで共に働く

障害者メンバー募集中♪

ライフでは、色々な職種の事業を展開しています。一度働いてみて自分に合わないな—と思ったら、ライフの中で別の職種を探すことも出来ます。お気軽に、自分にピッタリのお仕事探しをしませんか？



元気いっぱい“こころや”のメンバー

就労継続支援事業B型

共働サービス たねや

たねやでは店舗販売・出張販売・清掃委託業務・軽作業を行っています。

店舗では「体に優しい」食品や、手づくり



雑貨を厳選して販売。現在は販売に力を入れていることもあり、接客に興味がある人は特に大歓迎です。その他、

清掃や軽作業に興味がある方も是非下記までご連絡ください。

お問い合わせ ☎011-613-0611

毎日元気に出勤できる方優遇します！ 担当：奥井・酒井

就労継続支援事業B型

キッチンとこだわり品の店

コン・ブリオ ひだまり

コン・ブリオひだまりでは、店内でのお食事とテイクアウト弁当作りのほか、体に優しい商品を元気いっぱいの接客で販売しております。

料理が出来なくても、経験がなくてもスタートは一緒です。皆が優しく教えてくれますよ！ひだまりで一緒に働いてみませんか？



お問い合わせ ☎011-615-4131

担当：小野寺・秋元



生活介護型事業

こころや

k o k o r o y a

2016年1月から生活介護事業所になりました。これからは仕事だけにこだわらず、ゆっくりとした時間をすごしていきたいと思います。



安全安心なお米の卸し、販売はこれからも継続していきます。

一度、見学だけでもしてみませんか？連絡お待ちしております。

お問い合わせ ☎011-614-1871

担当：田中・竹田

ライフ事業所一覧

◇NPOライフ本部事務局

TEL 011-633-6666 FAX 011-613-9323

共働事業所きばりや

TEL 011-644-5533 FAX 011-613-9323

こころや

TEL 011-614-1871 FAX 011-613-9323

〒063-0812

札幌市西区琴似2条5丁目3-5 マンションMOMO1F

コン・プリオひだまり

TEL 011-615-4131 FAX 011-615-4132

〒063-0812

札幌市西区琴似2条3丁目2-37 サンハイム1F

共働サービスたねや

TEL 011-613-0611 FAX 011-644-0088

ヘルパーステーション繭結(ゆい)

TEL 011-623-2505 FAX 011-644-0088

〒063-0804

札幌市西区二十四軒4条6丁目5-32 テラ二十四軒1F

アウトソーシングセンター元気ジョブ

TEL 011-596-6581 FAX 011-596-6582

〒064-0808

札幌市中央区南8条西2丁目5-74 市民活動プラザ星園103

共働事業所もじや

TEL 011-596-6583 FAX 011-596-6584

〒064-0808

札幌市中央区南8条西2丁目5-74 市民活動プラザ星園104

相談室らいふ

TEL 080-6076-1474 FAX 011-596-6584

〒064-0808

札幌市中央区南8条西2丁目5-74 市民活動プラザ星園203

Cafe de Kibariya(カフェ・ド・キバリヤ)

TEL・FAX 011-758-6533

〒060-0808

札幌市中央区北8条西3丁目 札幌エルプラザ内3F喫茶コーナー

リサイクルプラザ発寒工房

TEL 011-662-7815 FAX 011-662-7816

URL <http://www.reuseplaza.jp/10hassamu.html>

〒063-0835

札幌市西区発寒15条14丁目2-30

札幌市リユースプラザ

TEL 011-375-1133 FAX 011-375-1155

URL <http://www.reuseplaza.jp>

〒004-0003

札幌市厚別区厚別東3条1丁目1-10

5月

イベントカレンダー

19日

札幌市リユースプラザ

土

春だ!桜だ!リユースまつり(子どもまつり)

10:00~15:00

最新の情報は、
ホームページを
ご覧ください!<http://www.npolife.net>

NPOライフ

Q 検索

《NPOライフブックレットのご紹介》

ぼくたちだって人間だ!!

障害者として生まれた満美。

話すことも、自由に動かすことも出来ない手足で

自殺まで考えた彼が今、

『生きていて幸せだ。』と言えるのは…

岡林満美、渾身の一冊、ぼくたちだって人間だ!!



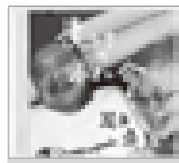
NPOライフブックレットNo.3

ぼくたちだって人間だ!!

A5判 134ページ

定価 800円(送料別)

岡林満美のCD

僕たちの
小さい命

定価

300円

(送料別)

「ぼくたちだって人間だ!!」×CD「僕たちの小さい命」同時購入がお得!

合計金額1,100円(送料別)のところ→ 同時購入価格 1,000円(送料別)

日本発
共生・共働の社会的企業

経済の民主主義と公平な分配を求めて

社会的排除から
インクルージョンへ

障害者、薬物・アルコール依存、シングルマザー、ホームレス、ニートなど、社会的に排除されやすい人を一定割合雇い、ソーシャルインクルージョンと平等な分配を追求する社会的事業所の意義と取り組み、促進のための制度を考える。

編者 NPO法人共同連

現代書館 195×135 240ページ 定価 2,100円

ブックレットのお申込みは、NPOライフ本部事務局まで!

メールでのお申込みは ⇒ main_lifemail@npolife.net

ご協力ありがとうございます（順不同・敬称略）

アドボケイト購読料 渡辺 弘 水口 正之 高橋 亨 宮野 英隆 国忠 崇史 藤川 雅司 佐藤 隆
星野 輝明 二部 黎 倉谷 あみ 西村 秀俊

寄付金 川村 勇 星野 輝明 エコフィスジャパン(株)

賛同会員会費 宮野 英隆 大谷 英男 奥田 龍人 二部 黎 倉谷 あみ

維持会員会費 佐藤 隆 長崎 昭子 織本 義昭 石澤 利夫 横路 由美子 **寄付金(ビル建設)** 鳥居 一頼

ライフカンパのご案内 ～だれもが地域であたりまえに暮らし、働くことができる社会を作ろう～

ライフは障害の種別を超え、「働きたい」と願う人の気持ちを繋ぐために25年以上活動してきました。これからも、障害のある人ない人をはじめ、社会的に不利な状況にある人たちも含めた、共に働き共に生きていく「社会的事業所」づくりをすすめていきます。ライフの活動に共感してくださる皆様方からの応援を是非ともお願いいたします。

お振り込み先	口座番号／加入者名
北洋銀行	琴似中央支店 普通預金 4606735 特定非営利活動法人 札幌障害者活動支援センターライフ 理事長 我妻 武
北海道信用金庫	琴似支店 普通預金 3296744 特定非営利活動法人 札幌障害者活動支援センターライフ 理事長 我妻 武
ゆうちょ銀行	振替口座 02710-4-63485 NPO札幌障害者活動支援センターライフ

月替わりコラム ～私のオススメ～

ドーバーパストリーゼ77

本部事務局 坂本 倫子

私がオススメしたいのは、酒造会社で作られた除菌スプレー「ドーバーパストリーゼ77」です。醸造用アルコールを使用し、厚生労働省認可の食品添加物なので食品に直接噴射できます。手や食器、調理器具、下駄箱、靴の中など色々なところに除菌・防臭・防カビ効果が高いようです。最近は飲食店や食品販売店で使われているのをよく見かけるようになりました。

私は自宅で調理器具やキッチン・冷蔵庫・トイレなど、ありとあらゆる場所に使用しています。汚れ落としのスプレーではありませんが、コンロの周りの油汚れに使うと汚れが浮いて、ふきのこしがないのでとてもオススメです。夏場は食中毒予防のために就寝前にキッチンにスプレーして寝るのが日課になっています。

皆さんもお試しあれ～



編集後記

ようやく暖かくなって雪も溶けたのに、しばらくぶりに入院となった。妻が亡くなった後の不摂生が主な原因で、それに伴う副産物の病気で入院。ゆっくりと病院でこれからの生活も含めて考えたい。と言っても、喉元過ぎればなんとやらなので、自戒したい。桜は見る事が出来るのか。妻や母が植えた花が咲くのを見る事が出来るだろうか。ライフの総会や全体会も気になる。(タケ)

あどばい
2018年4月号
No.207 定価 100円

2018年4月10日(毎月10日発行) HSK通巻番号553号 1973年1月13日第三種郵便認可 発行人=北海道障害者団体定期刊行物協会
編集者=我妻 武
◇特定非営利活動法人 札幌障害者活動支援センターライフ
〒063-0812 札幌市西区琴似2条5丁目3-5 マンションMOMO1F TEL 011-633-6666 FAX 011-613-9323
E-mail main_lifemail@npolife.net ホームページ <http://npolife.net/> 郵便振替口座 02710-4-63485